

高島市財政再建計画 について (小学校の統廃合を問う)

橋本 恒夫議員



問 「高島市財政再建計画(素案)・・概要校」では小学校の統廃合も組上に上がっている。今津西小学校は生徒数わずか8名で地元の生徒は2名である。地元以外の6名の中にはこれまでの学校には適応できず、悩まれた末にやっと西小学校を見つけたられた方達である。現在彼らは生き生きとした学校生活を送っており、両親も大変喜ばれている。少子高齢化社会の中でいかに子供を育て成人させるか、

現代社会に課せられている大きな宿題である。多くの可能性を秘めた子供に真っ直ぐ伸びる教育環境を与えるべきであり、小学校の統廃合については子供や親の立場に立った視点での対応を求めるところである。

答 教育長

学校の統廃合については、現在のところ具体的には考えていません。学校の存在は、児童・生徒の数が多くか少ないかだけでなく、地域の核として果たす

役割が大きいと考えます。特に人口が減少している地域では、学校を核として地域がまとも、自然や文化を大切にしていけることを展開していくことも必要ではないかと考えます。今後、現在のままでよいと言うのではなく、良い点や課題を分析し、保護者や地域の人たちの願いを取り込んで、学校とまちづくりを合わせて検討していく必要があると考えています。



今津西小学校

交通安全対策 について

小川 庄三議員



問 交通事故をなくすのは、市民一人ひとりが命の尊さを考え、温かい思いやりの心をもって、交通ルールを守り、交通マナーを高め、これを実践することが何よりも大切である。高島市では、今年1月から7月の半年間で市内192件の事故が発生している。その事故の内容は、出頭60件、追突47件で全体の55%を占めている。市民自らの交通安全意識を高めることも必要と考えるが、安全確保

の視点から行政が交通事故の発生が懸念される箇所についてその発生を未然に防止できるような積極的な対応が求められる。そして、無事故・無違反運動を展開することも提案する。

答 土木交通部長

交通事故の発生が懸念される所には、カーブミラー等の交通安全施設を設置し、信号機の設置や交通規制については、公安委員会に対し強く要望して

います。また、死亡事故現場や規制のない交差点等には、警告看板の設置や交通安全啓発を行っております。集落内においても、各自治会の協力のもと、啓発活動等を行ってまいります。今後更に交通安全施設の充実と啓発活動を強化してまいります。市独自の無事故・無違反運動の実施については、旧新旭町での実施例を参考に検討してまいります。

